



福島医発第218号(地)

平成23年 4月21日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻 一 良

(公 印 省 略)

平成23年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

厚生労働省では、がん対策基本法において掲げられたがん医療の均てん化の促進等のため、専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成を行うとともに、がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等を目的として、平成18年度から開始された「がん医療指導者養成研修事業」により、がん診療連携拠点病院の医療従事者等に対する研修が行われております。

今般、独立行政法人国立がん研究センターにおける研修を有効活用いただけるよう、別紙2のとおり上記研修等について対象者ごとにその種類を分類するとともに、都道府県の推薦など必要事項等が整理され、研修計画(予定)(別紙1)に係る事務連絡が福岡県保健医療介護部健康増進課長を通じて参りましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本研修に関するお問い合わせは、国立がん研究センターがん対策情報センターがん対策企画課研修推進室(Tel03-3542-2511(2506))までご照会下さい。

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

「公印省略」

23健第94号-3
平成23年4月12日

福岡県医師会会長 } 殿
福岡県病院協会会長 }
福岡県私設病院協会会長 }

福岡県保健医療介護部健康増進課長
(保健事業係)

平成23年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

本県の保健医療行政の推進につきましては、御理解・御協力を賜り、感謝いたします。

さて、標記について、厚生労働省より研修計画（予定）に係る事務連絡がありましたので、貴会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

なお、都道府県の推薦の必要がない研修につきましては、直接国立がんセンターにお問い合わせいただきますようよろしくお願いします。

【 照会先 】

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん対策企画課研修推進室

TEL 03-3542-2511 (2506)

(県の推薦が必要な研修については)

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

福岡県保健医療介護部健康増進課保健事業係

TEL 092-643-3270

平成23年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

平成23年4月7日現在

研修名		対象			都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		職種	要件	指導者養成						都道府県	会場名
緩和ケアの基礎教育のための都道府県指導者研修会		医師	○原則として、一般病院、がん専門施設、診療所、緩和ケア病棟において、がん患者の身体症状の緩和に携わる医師としての経験が5年以上ある者。 (ただし初回研修の期間を除く)	○	④(都道府県が指定する者)	有	年1回 3日間	64名程度	○がん対策基本法で策定された、がん対策推進基本計画における緩和ケアに関する個別目標を達成するため、各都道府県における緩和ケア教育の中心となる指導者育成のための研修。	平成23年5月27日(金)～29日(日)	千葉 クロスウェーブ船橋
精神腫瘍学の基礎教育のための都道府県指導者研修会		医師	○医師として経験が5年以上あり、横断する精神科・心療内科の常勤医(週4日勤務以上)として3年以上の経験があり、うち最低1年は総合病院やがん専門病院など、がん患者の診療を行う施設に勤務している者。	○	⑤(都道府県が指定する者)	有	年1回 2日間	64名程度	○がん医療に携わる精神腫瘍医が精神腫瘍学に関して「知っているべき知識」と「臨床に実施するべき内容」を理解し、今後、都道府県がん対策推進計画などに基づいて実施される「がん医療に携わる医師向けの研修」で教育するべき内容を理解する。	平成23年5月28日(土)～29日(日)	千葉 クロスウェーブ船橋
短期がん専門研修		医師	○以下の条件の全てに該当する者 ①大半(医学部課程)卒業の医師免許証を有する医師であって、平成23年4月1日の時点で、臨床経験3年以上を有する者。 ②研修を希望する診療科の専門的な知識を有する者。	×	②	無	年2回 6ヶ月間	中央病院 各10名程度 東病院 各8名程度	○レジデントに準ずる身分で、がん研究センターにおける医師研修の門戸を広げる。 ○糸原間の研修が困難な医師を対象として専門的ながん研修を行い、地域における指導者として活動できる人材を育成する。がん診療連携拠点病院勤務者、および化学療法、放射線治療および緩和ケア専攻者を優先的に採用する。	平成23年4月1日(金)～6月30日(金) 平成23年10月1日(土)～平成24年3月31日(土)	東京 千葉県 独立行政法人国立がん研究センター 中央病院および、東病院
がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム研修会		身体症状担当医師、精神症状担当医師、看護師および薬剤師を1チーム(4人)として参加	○がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームのメンバーとして実働している左記の者。	×	①(②)	無	年2回 2日間	各回 18チーム	○緩和ケアの提供体制の整備および緩和ケアチームの各職種が果たすべき役割と専門的な知識を習得する。緩和ケアの提供体制の整備と、緩和ケアチームの各職種の連携と協働および院内緩和ケア教育について習得する。	期日未定	東京 独立行政法人国立がん研究センター
がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修		医師、薬剤師、看護師およびMSWを1チーム(4人)として参加	○主に、以下のすべてに該当し、各都道府県が推薦する医療機関において、がん化学療法チームとして勤務している医師、薬剤師、看護師およびMSW。 ①厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院のがん化学療法チームであることと原則とする。 ②がん化学療法にかかる業務に従事している医師、薬剤師、看護師、およびMSW。 ③がん化学療法にかかる教育を行っている者。 ④所属施設において、がん化学療法の充実に貢献しようとしている者。	○	②	有	年2回 2日間	各回 8チーム	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、がん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の連携レベル向上に寄与し、がん医療の均てん化の一助とする。 ○がん化学療法医療チーム(医師・薬剤師・看護師、MSW)が施設内に新薬剤を安全かつスムーズに導入することを目的とする。	期日未定	東京 独立行政法人国立がん研究センター
がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修	治療コース	診療放射線技師	○以下の条件に全て該当する者。 ①診療放射線技師として5年以上15年未満の経験を有する放射線治療あるいは、診断に従事する者。 ②下記設備のうち1つを有している施設(拠点病院を優先)又は設置しようとする施設に勤務している者。 【設備】消化器検査装置、CT・MRI・R各検査装置、高エネルギー放射線装置	○	②	無	年1回 4週間	7名	○放射線治療に関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学び、地域における指導者としての役割を担う。	平成23年10月17日(月)～11月11日(金)	東京 独立行政法人国立がん研究センター
	診断コース	診療放射線技師	○臨床検査業務に従事している検査技師で、病理学的検査の実務経験が3年以上、かつ細胞診検査士の認定資格を有する者。	○	②	無	年1回 3週間	14名	○消化器診断・乳腺診断・GT・MRI・Rのモダリティ毎に関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学び、地域における指導者としての役割を担う。	平成23年10月17日(月)～11月4日(金)	東京 独立行政法人国立がん研究センター
がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修	細胞診コース	臨床検査技師	○臨床検査業務に従事している検査技師で、病理学的検査の実務経験が3年以上、かつ細胞診検査士の認定資格を有する者。	○	②	無	年2回 3ヶ月間	各回2名	○細胞診コースおよび超音波コースを設け、それぞれの分野において豊富な症例数での研修を行う。	平成23年10月3日(月)～12月28日(水) 平成24年1月4日(水)～3月30日(金)	東京 独立行政法人国立がん研究センター
	超音波コース	臨床検査技師	○臨床検査業務に従事している検査技師で、腹部超音波検査の実務経験が3年以上、かつ超音波検査士(消化器領域)の認定資格を有する者。	○	②	無	各回1名				
がん看護研修企画・指導者研修		看護師 行政担当者	○がん看護研修の企画・運営を行う者。	○	①(②)	有	年2回 2日間	各回 50名程度	○がん看護に関する研修を各都道府県において円滑かつ効果的に実施することを推進するために、がん看護に関する研修を企画・運営する指導者を育成する。	平成23年10月、12月頃開催予定	東京 独立行政法人国立がん研究センター
がん看護専門分野(指導者)講義研修	がん化学療法看護コース	看護師	○看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。 (実地研修受講を希望する人は必ず受講しておくこととする。)	○	②	無	年1回 4日間	各コース 40名程度	○がん診療に従事する看護師に対し、高度で専門的な知識および技術を習得させ、がん看護実践の充実に図る。がん看護の各専門分野における地域および施設でのリーダーを養成する。	平成23年7月12日(火)～15日(金) 平成23年9月8日(火)～9日(金) 平成23年6月22日(水)～24日(金)	東京 独立行政法人国立がん研究センター
	緩和ケアコース	看護師	○看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。 ○がん看護専門分野(指導者)講義研修修了者。 ※該当コースの講義研修を受講していることが実地研修の条件とする。 ※幹細胞移植看護コースはがん化学療法看護コースの講義研修を受講する。	○	②	有	年1回 3ヶ月間	中央病院:4名 東病院:2名 中央病院:1名 中央病院:4名 東病院:2名 中央病院:4名 東病院:2名	○がん診療に従事する看護師に対し、高度で専門的な知識および技術を習得させ、がん看護実践の充実に図る。がん看護の各専門分野における地域および施設でのリーダーを養成する。講義研修を踏まえた実地研修を行い、がん看護実践能力の向上、自施設での現場改革に貢献できる人材育成を目指す。	平成23年10月3日(月)～12月22日(金)	東京 千葉県 独立行政法人国立がん研究センター 中央病院および、東病院
	放射線療法看護コース	看護師	○看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。 ○がん看護専門分野(指導者)講義研修修了者。 ※該当コースの講義研修を受講していることが実地研修の条件とする。 ※幹細胞移植看護コースはがん化学療法看護コースの講義研修を受講する。	○	②	有	隔年1回 1日間	20名程度	○がん看護専門分野(指導者)実地研修受講後の臨床実践および地域や施設でのリーダーシップ発揮についてフォローアップを行う。(討議・講義形式)	平成24年1月頃開催予定	東京 独立行政法人国立がん研究センター
相談支援センター相談員基礎研修会(1)		相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ②医療・福祉関係の有資格者、あるいはそれに準ずる者。	×	②	無	年1回 2日間	500名程度	○臨床腫瘍学、緩和医療学、精神腫瘍学等を中心に、がんに関わる幅広い知識として押さえておくべきがん医療の基本的な知識を学ぶ。	平成23年5月17日(月)～18日(火)	東京 日本教育会館(一ツ橋ホール)
相談支援センター相談員基礎研修会(2)		相談員	同上	×	②	無	年1回 3日間	500名程度	○各種がん・がん予防・臨床試験・アスベスト等の各論を中心に、がんに関する基本的な知識を学ぶ。	平成23年5月18日(火)～20日(木)	東京 日本教育会館(一ツ橋ホール)

平成23年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

平23年4月7日現在

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)						都道府県	会場名
相談支援センター相談員基礎研修会(3)	相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ②医療・福祉関係の資格者、あるいはそれに準ずる者。 ③相談支援センター相談員基礎研修会(1)(2)を受講していること。 ④病院長の推薦を受けていること。	×	②	無	年4回 2日間	各回 45名程度	○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	平成23年6月18日(土)～19日(日) 平成23年7月9日(土)～10日(日) 平成23年8月20日(土)～21日(日) 平成23年9月10日(土)～11日(日)	東京 福岡 東京 大阪	独立行政法人国立がん研究センター 九州医療センター 独立行政法人国立がん研究センター 市立豊中病院
相談支援センター相談員トレーナー研修会 (ファシリテーションスキル)	相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①所属施設が厚生労働省の指定するがん診療連携拠点病院であること。 ②がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ③医療・福祉関係の資格者、あるいはそれに準ずる者。 ④相談支援センター相談員基礎研修会(1)(2)(3)を修了していること。 ⑤各地域における相談員の学習の機会を作ることへの意欲がある者。	○	①	無	年1回 2日間	40名程度	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を養成する。 ○グループワーク形式の研修場面を想定したロールプレイを通してファシリテーションスキルを学ぶ。	平成23年11月26日(土)～27日(日)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
相談支援センター相談員トレーナー研修会 (素材からの教材づくり)	相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①所属施設が厚生労働省の指定するがん診療連携拠点病院であること。 ②がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ③医療・福祉関係の資格者、あるいはそれに準ずる者。 ④相談支援センター相談員基礎研修会(1)(2)(3)を修了していること。 ⑤各地域における相談員の学習の機会を作ることへの意欲がある者。	○	①	無	年1回 1日間	20名程度	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を養成する。 ○相談事例等の素材から研修企画する際の学習の要素を学び、教材として活用するための検討を行う。	平成23年10月15日(土)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
院内がん登録実務初級者研修会(前期) ※5月～7月開催のものを「前期」と呼びます。	職種は 特に問わない	○これから登録を始める、あるいは登録を始めて1年以内の登録実務経験者。	×	③	無	前期 A演習 年4回 2日間	100名程度	○主要5部位(胃・大腸・肝臓・乳房・肺)のがんについて、UICCのTNM分類などの病期分類などをコーディングでき、院内がん登録の標準登録様式などに関して十分な知識を有するレベル(1～2年程度の実務経験のある者担当)をめざす。 ○本研修終了には、基礎講義(e-learning)、A演習(簡単な演習)2日間、B演習(やや難しい演習)2日間の3課程の受講が必要です。 ※ 初めて受講する者は、前期のA演習の研修から受講を開始する形式に本年度より変更になりました。 後期はB演習のみの開催であるため、後期からの受講はできません。	前期A演習：平成23年6月23日(木)～24日(金) 前期A演習：平成23年7月04日(月)～05日(火) 前期A演習：平成23年7月21日(木)～22日(金) 前期A演習：平成23年7月29日(木)～29日(金) 前期B演習：平成23年5月24日(火)～25日(水) 前期B演習：平成23年6月7日(火)～8日(水) 前期B演習：平成23年6月02日(木)～03日(金) 前期B演習：平成23年6月23日(木)～24日(金) 後期B演習：平成23年10月24日(月)～25日(火) 後期B演習：平成23年11月7日(火)～8日(水) 後期B演習：平成23年11月16日(水)～17日(木) 後期B演習：平成23年11月20日(月)～29日(火)	大阪 東京1 東京2 福岡 東京1 福岡 東京2 福岡 大阪 福岡 大阪 埼玉 東京	新橋田研修センター 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館 福岡県中小企業振興センター 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館 福岡県中小企業振興センター 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館 新橋田研修センター 新橋田研修センター JA共済埼玉ビル 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館
							150名程度				
							80名程度				
							100名程度				
院内がん登録実務初級者研修会(後期) ※10月～11月開催のものを「後期」と呼びます。	職種は 特に問わない	○B演習は、A演習2日間を修了した者のみ対象。 ※平成23年度に限り、前期と後期両方にB演習を開講します。 平成24年以降はB演習は後期にのみ開講の予定。	×	③	無	前期 B演習 年4回 2日間	80名程度	* がん診療連携拠点病院の指定要件にかかわる受講者は必ず10月末日までに初級者研修(基礎講義・A演習・B演習)を修了してください。 なお、平成23年度内に指定要件を充足する必要がある施設に限り、A演習を7月開催(福岡会場)で受講し、B演習を10月開催(福岡会場)で受講して、10月末日に研修を修了できる「拠点病院指定特別枠」を設けています。 この特別枠については、A演習の受講申込みは6月末となりますので、募集要項をご参照ください。	後期B演習：平成23年10月24日(月)～25日(火) 後期B演習：平成23年11月7日(火)～8日(水) 後期B演習：平成23年11月16日(水)～17日(木) 後期B演習：平成23年11月20日(月)～29日(火)	福岡 東京1 福岡 東京2 福岡 大阪 福岡 大阪 埼玉 東京	福岡県中小企業振興センター 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館 新橋田研修センター 新橋田研修センター JA共済埼玉ビル 独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館
							100名程度				
							100名程度				
							150名程度				
院内がん登録実務初級修了者研修会	職種は 特に問わない	○平成22年度までに、院内がん登録実務初級者研修会を修了している者。 ※平成23年度に院内がん登録実務初級者研修会を修了した者は、本年度の研修は受講できない。	×	③	無	年13回 1日間	100名程度	○初級者研修会修了者を対象に、がん登録業務に関わる知識・技術の向上を目的としています。 ○今年度は、UICCのTNM第7版での主要5部位の病期分類に関する研修で、簡便な演習問題を含んだ1日研修。	平成23年6月6日(月)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内： 国際研究交流会館
							100名程度		平成23年6月14日(火)		
							100名程度		平成23年6月28日(火)		
							100名程度		平成23年7月19日(火)		
							100名程度		平成23年7月26日(火)		
							100名程度		平成23年8月30日(火)		
							100名程度		平成23年9月8日(木)		
							100名程度		平成23年9月22日(木)		
							100名程度		平成23年10月4日(火)		
							100名程度		平成23年10月18日(火)		
							100名程度		平成23年11月18日(金)		
							100名程度		平成23年12月13日(火)		
院内がん登録実務中級者研修会	職種は 特に問わない	○以下の条件の全てに該当する者 ①初級者研修修了者。 ②がん診療連携拠点病院に指定されている施設で登録実務2年程度の経験、あるいは施設での登録症例数が1000例以上の登録実務経験者。 ③施設長の推薦を有する者。	×	①	無	年3回 5日間	各回40名	○主要5部位以外のUICCのTNM分類などの病期分類のコーディングを行うことができ、また各種癌取扱い規約の内容も十分に理解するレベル(登録実務2年以上の経験のある者担当)受講に際しては採用試験を実施し、一定水準を満たした者を対象とする。 ○最終日に修了試験に合格した実務者に修了証書を発行。	平成23年5月16日(月)～20日(金) 平成23年8月22日(月)～26日(金) 平成23年9月12日(月)～16日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
							各回40名				
							各回40名				

平成23年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

平23年4月7日現在

研修名	職種	対象				研修期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		要件	指導者養成	病院の種類(注1)	都道府県からの推薦					都道府県	会場名
院内がん登録実務中級修了者UIOCTNM第7版対応研修会	職種は特に問わない	○院内がん登録実務中級者研修会修了者。 ※平成23年度に「院内がん登録実務中級者研修会修了者」は、12月開催の研修を受講する。	×	①	無	年4回 2日間	各回 80名程度	○院内がん登録実務中級者研修会修了者を対象に、UIOCTNM第7版の変更点についての説明、解題を行う。 ※UIOCTNM第7版への変更に関する研修のため、平成23年度のみ開催。	平成23年8月18日(木)～19日(金) 平成23年9月5日(月)～6日(火) 平成23年12月5日(月)～6日(火) 平成23年12月15日(木)～16日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内: 国際研究交流会館
院内がん登録実務指導者研修会	職種は特に問わない	○以下の条件の全てに該当する者 ①登録実務2年以上の経験者で院内がん登録初級者研修会講師として、指導できる者。 ②初級者研修修了者。 ③施設長の推薦を有する者。 ④都道府県からの推薦を有する者。	○	④	有	年2回 3日間	各回10名	○中級者以上のレベルを有した実務者(平成23年度は初級者研修修了者)から指導者育成 ○初級者研修に主体的に関わってもらうとともに、当面は各ブロックに2～3名の指導者、将来的には都道府県のがん診療連携拠点病院に1名以上の指導者を配置。 ○その地域の院内がん登録に関して指導的に関われる体制整備をめざす。 1) 実演演習(演習説明) 2) グループ討論からなり、初級研修会での実演演習を行うとともに、院内がん登録に関わる諸問題、あるいはトピックスに関してグループ討論を行い、解決策を導く。 ○がん対策情報センターが主催する初級者研修会での演習指導や支援を行うことで、指導者研修を修了とする。	平成23年5月11日(水)～13日(金) 平成23年8月3日(水)～5日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内: 国際研究交流会館
院内がん登録実務指導者修了者研修会	職種は特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修会修了者。	○	③	無	年1回 1日間	60名	○指導者研修修了者、初級者研修会で講義担当、演習指導を予定している実務指導者を対象に、最新の情報提供を行うとともに読書 および、演習を円滑に進める研修を行う。 1) 最新情報の読書 2) グループ討論からなり、初級研修会での講義や説明の実演演習に反映させるとともにトピックスに関してグループ討論を行い、解決策を導く。	平成23年4月22日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内: 国際研究交流会館
院内がん登録実務指導者継続研修会	職種は特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修会修了者。	○	③	無	応募者と要相談	各回 1名程度	○講義あるいは、演習指導などのスキルアップを希望する方を対象に個別指導を行うことを目的とする。	日時は、応募者と要相談 ※当センター院内がん登録室へお問い合わせください。	東京	独立行政法人国立がん研究センター
院内がん登録見学研修会	職種は特に問わない	○院内がん登録関係者。	×	④	無	年5回 半日	各回20名	○院内がん登録の実務体制の見学。	平成23年6月10日(金) 平成23年7月8日(金) ※3回目以降は期日未定	東京	独立行政法人国立がん研究センター
地域がん登録行政担当者向け講習	行政担当者	○都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員。	×	その他	無	年1回 1日間	100名程度	○都道府県における地域がん登録を活用したがん対策事業の企画支援を目的として、地域がん登録事業や統計の基礎、登録資料の活用方法などを講習します。	平成23年12月8日(木)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内: 国際研究交流会館
地域がん登録実務者講習	がん登録実務者	○地域がん登録室に勤務するがん登録実務者。 (医療機関において院内がん登録 のみに携わる実務者は対象としません。)	×	その他	無	年1回 1日間	150名程度	○地域がん登録実務の基礎講習として、地域がん登録室の実務者の基礎的技能習得を目的に、講義と演習などを実施します。	平成23年12月7日(水)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内: 国際研究交流会館



事 務 連 絡

平成23年4月8日

各都道府県がん対策主幹課 御中

厚生労働省健康局総務課
が ん 対 策 推 進 室

平成23年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

がん対策基本法において掲げられたがん医療の均てん化の促進等のため、専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成を行うとともに、がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等を目的として、平成18年度から開始された「がん医療指導者養成研修事業」により、がん診療連携拠点病院の医療従事者等に対する研修を行ってきたところです。

今般、独立行政法人国立がん研究センター（以下「国立がん研究センター」という。）における研修を有効活用いただけるよう、別添のとおり、上記研修等について、対象者ごとにその種類を分類するとともに、都道府県の推薦など必要事項等を整理しましたので、貴管下のがん診療連携拠点病院その他の医療機関への周知方よろしくお取り計らい願います。

なお、平成20年度から、国立がん研究センターにおける研修以外にも、インターネットを活用した専門医の育成、がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術、がん患者に対するリハビリテーションなど、各種研修を実施しており、当該研修についても、適宜、各都道府県にお知らせいたしますので、その際には、貴管下のがん診療連携拠点病院その他の医療機関への周知方よろしくお取り計らい願います。

(別 添)

平成23年度の国立がん研究センターにおけるがん診療に携わる
医療従事者を対象とした研修について

1 研修の種類

(1) 医師

- ① 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会
- ② 精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修会
- ③ 短期がん専門研修

(2) 看護師

- ① がん看護研修企画・指導者研修
- ② がん看護専門分野（指導者）講義研修
 - ア がん化学療法看護コース
 - イ 緩和ケアコース
 - ウ 放射線療法看護コース
- ③ がん看護専門分野（指導者）実地研修
 - ア がん化学療法看護コース
 - イ 造血幹細胞移植看護コース
 - ウ 緩和ケアコース
 - エ 放射線療法看護コース
 - オ フォローアップ研修（討議・講義形式）

(3) チーム

- ① がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム（身体症状を担当する医師、精神症状を担当する医師、看護師、薬剤師）研修会
- ② がん化学療法医療チーム（医師、薬剤師、看護師、MSW）養成にかかる指導者研修

(4) 診療放射線技師

- ① がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修
 - ア 治療コース
 - イ 診断コース

(5) 臨床検査技師

- ① がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修
 - ア 細胞診コース
 - イ 超音波コース

(6) 相談支援センター相談員

- ① 相談支援センター相談員基礎研修会 (1)
- ② 相談支援センター相談員基礎研修会 (2)
- ③ 相談支援センター相談員基礎研修会 (3)
- ④ 相談支援センター相談員・トレーナー研修会
 - ア 「ファシリテーションスキル」についての研修
 - イ 「素材からの教材づくり」についての研修

(7) がん登録実務者

- ① 院内がん登録実務初級者研修会
- ② 院内がん登録実務初級修了者研修会
- ③ 院内がん登録実務中級者研修会
- ④ 院内がん登録実務中級修了者UICCTNM第7版対応研修会
- ⑤ 院内がん登録実務指導者研修会
- ⑥ 院内がん登録実務指導者修了者研修会
- ⑦ 院内がん登録実務指導者継続研修会
- ⑧ 院内がん登録見学研修会
- ⑨ 地域がん登録行政担当者向け講習
- ⑩ 地域がん登録実務者講習

2 研修計画等

平成23年度の研修計画は別添のとおりです。

なお、各研修の開催日時、申込の締切期日などの詳細については、後日、都道府県あてに情報提供いたします。

3 研修の申込、各都道府県の推薦、受講者の選定・通知、経費

(1) 研修の申込

研修に参加を希望される場合には、必要書類を作成の上、各医療機関から国立がん研究センターへ直接申し込むこととなります。

<照会先>

〒104-0045

東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センターがん対策情報センターがん対策企画課研修推進室

TEL03-3542-2511 (2506) FAX 03-3442-2545

e-mail: kenshu-contact@ml.res.ncc.go.jp

※ 研修の申込を行った者から研修受講者を選定し、国立がん研究センターより所属施設長及び受講者に通知

(2) 都道府県の推薦

当面、下記の研修については、以下の理由により各都道府県からの推薦が申込の前提となりますので、特段の御配慮をお願いいたします。

- 1) 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会、精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修会については、各都道府県の緩和ケア教育の中心となる指導者を育成することを目的とするため。
- 2) がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修については、研修修了後、各都道府県におけるがん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の医療レベル向上に寄与し、がん医療均てん化の一助することを目的とするため。
- 3) がん看護研修企画・指導者研修、がん看護専門分野（指導者）実地研修については、各都道府県におけるがん看護に関する研修企画・運営及び実践の指導者を養成することを目的とするため。
- 4) 院内がん登録実務指導者研修会については、初級者研修や各地域の院内がん登録に関して指導的に関われるがん登録実務指導者の育成することを目的とするため

(3) 経費

受講料は無料ですが、受講地への旅費・滞在費等は受講者側の負担となります。ただし、がん診療連携拠点病院の医療従事者が下記の研修を受講する場合で、研修受講後に各都道府県内で研修会を開催するなど、地域のがん医療を牽引していく計画がある場合には、がん診療連携拠点病院機能強化事業を活用できるものとします。

- 1) 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会
- 2) 精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修会
- 3) がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修
- 4) がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修
 - ア) 治療コース
 - イ) 診断コース
- 5) がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修
 - ア) 細胞診コース
 - イ) 超音波コース
- 6) がん看護研修企画・指導者研修
- 7) がん看護専門分野（指導者）講義研修
 - ア) がん化学療法看護コース
 - イ) 緩和ケアコース
 - ウ) 放射線療法看護コース
- 8) がん看護専門分野（指導者）実地研修
 - ア) がん化学療法看護コース
 - イ) 造血幹細胞移植看護コース
 - ウ) 緩和ケアコース
 - エ) 放射線療法看護コース

- オ) フォローアップ研修（討議・講義形式）
- 9) 相談支援センター相談員・トレーナー研修会
 - ア 「ファシリテーションスキル」についての研修
 - イ 「素材からの教材づくり」についての研修
- 10) 院内がん登録実務指導者研修会
- 11) 院内がん登録実務指導者修了者研修会
- 12) 院内がん登録実務指導者継続研修会

4 がん診療連携拠点病院の指定要件との関係

がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」（平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知（平成23年3月29日一部改正））に基づき、国立がん研究センターがん対策情報センターによる研修を修了・受講した相談員及びがん登録実務者を配置する必要があります。

相談支援センターの相談員（複数配置）については、1名は「相談員基礎研修（2）」まで修了し、もう1名は「相談員基礎研修（3）」まで修了している必要があります。また、がん登録実務者については「院内がん登録実務初級者研修」を修了している必要があります。これらの研修を修了していない場合には、指定要件を満たしていないこととなりますので、ご注意ください。

なお、先般の東日本大震災により、今年度予定していた研修会へ参加できず、指定要件の充足が困難となる場合が想定されます。被災した岩手県、宮城県及び福島県につきましては、拠点病院の指定について緩和措置を講じることについて検討いたしておりますので、現時点におきましては、被災地域におけるがん患者等に対する適切な医療の確保について最優先で取り組んでいただけますよう、よろしくお願いいたします。時機をみて、電話等によりヒアリングを行う予定としております。

また、岩手県、宮城県及び福島県以外の都道府県におかれまして、先般の東日本大震災による影響で、研修会へ参加できず、指定要件の充足が困難となる病院がある場合につきましては、平成23年4月末日までに、都道府県においてとりまとめの上、がん対策推進室宛て個別にご相談ください。

震災の影響によるその他の指定要件の緩和措置につきましては、別途連絡します。